

令和4年度

県政モニターアンケート調査結果

テーマ：「ふくおか教育月間」について

教育庁教育総務部総務企画課

調査の目的

本県では、県民の皆さんに教育に対する関心と理解を一層深めていただくとともに、家庭、学校及び地域社会が連携して本県教育の充実と発展を図るため、毎年11月を「ふくおか教育月間」に定め、著名人による記念講演や児童生徒の発表などを行う記念イベントを開催したり、「ふくおか教育月間」のイメージキャラクター「ミライル」※を活用した啓発チラシを配布したりしています。

皆さんの「ふくおか教育月間」の認知度等についてお聴かせいただき、今後の行政施策の参考とさせていただきたいと思えます。

調査時期

令和4年9月30日～令和4年10月14日

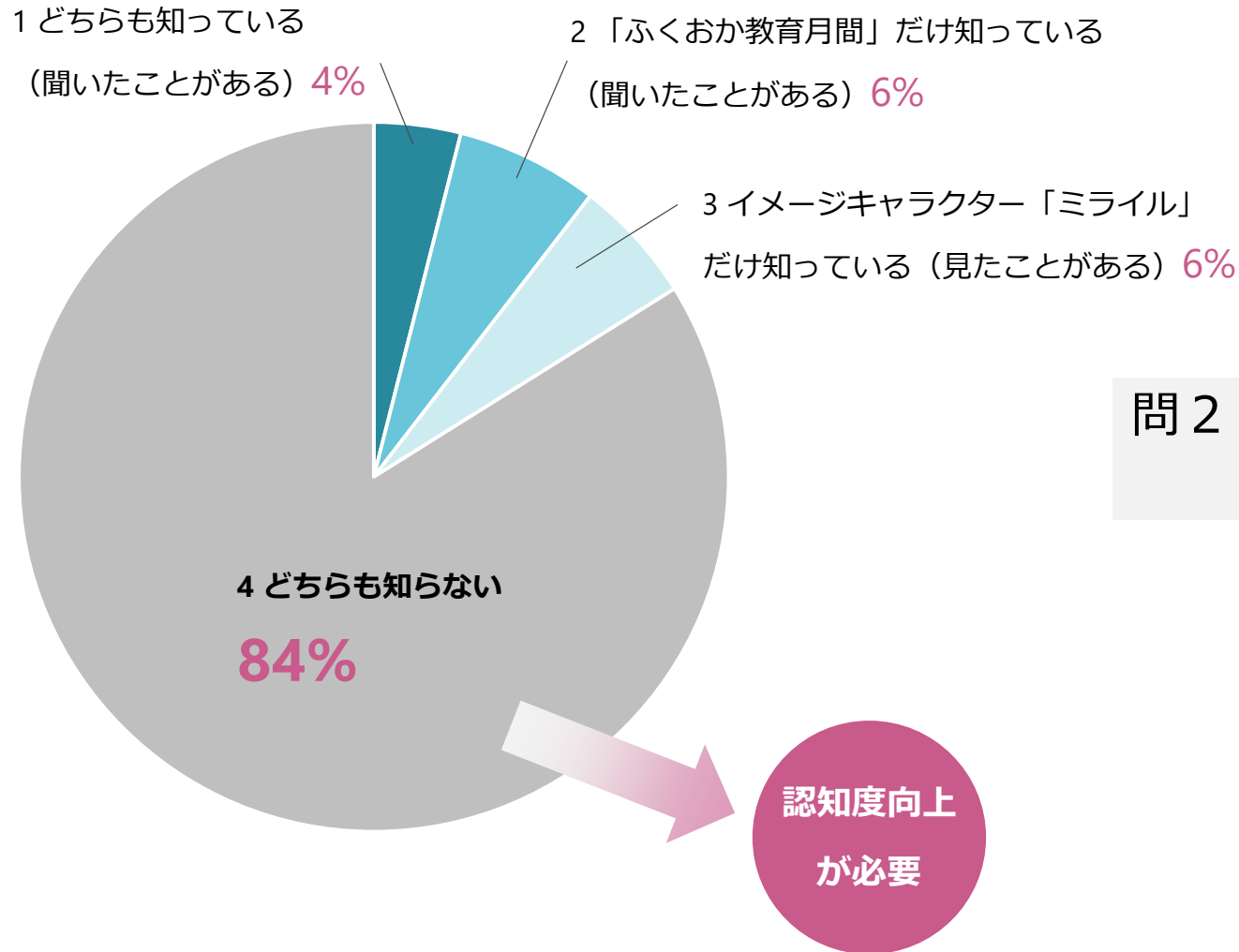
※ イメージキャラクター「ミライル」とは

これからの社会にはばたく子どもたちの「翼」をイメージした妖精です。「ミライル」という名前には、笑顔（スマイル）が溢れる未来（ミライ）に羽ばたいてほしいという願いが込められています。



問1 「ふくおか教育月間」やイメージキャラクター「ミライル」を知っていますか。

(N=354、選択は1つのみ)



選択肢	人数	割合
1 どちらも知っている (聞いたことがある)	14人	4%
2 「ふくおか教育月間」だけ知っている (聞いたことがある)	23人	6%
3 イメージキャラクター「ミライル」だけ知っている (見たことがある)	20人	6%
4 どちらも知らない	297人	84%

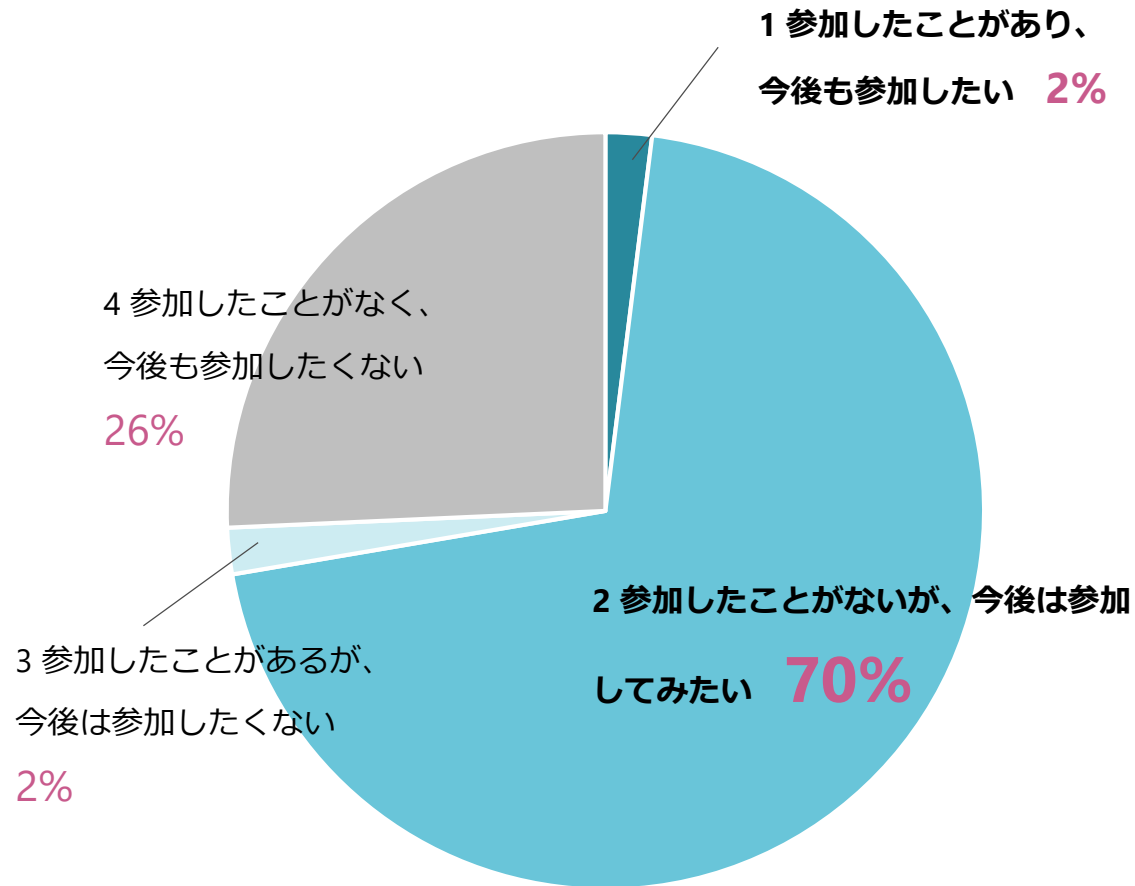
問2 どこで知りましたか。

(問1で[1][2][3]を選んだ場合、N=57、複数選択可)

福岡県のホームページ	32人
「ふくおか教育月間」記念行事のポスター・チラシ	15人
学校からの案内	11人
新聞広告	10人
WEB広告	9人
フリーペーパー	7人
家族・知人の紹介	2人
その他	6人

問3 「ふくおか教育月間」記念イベントや、学校や地域における教育に関する行事等に参加したいと思いますか。

(N=354、選択は1つのみ)



選択肢	人数	割合
1 参加したことがあり、今後も参加したい	7人	2%
2 参加したことがないが、今後は参加してみたい	249人	70%
3 参加したことがあるが、今後は参加したくない	7人	2%
4 参加したことがなく、今後も参加したくない	91人	26%

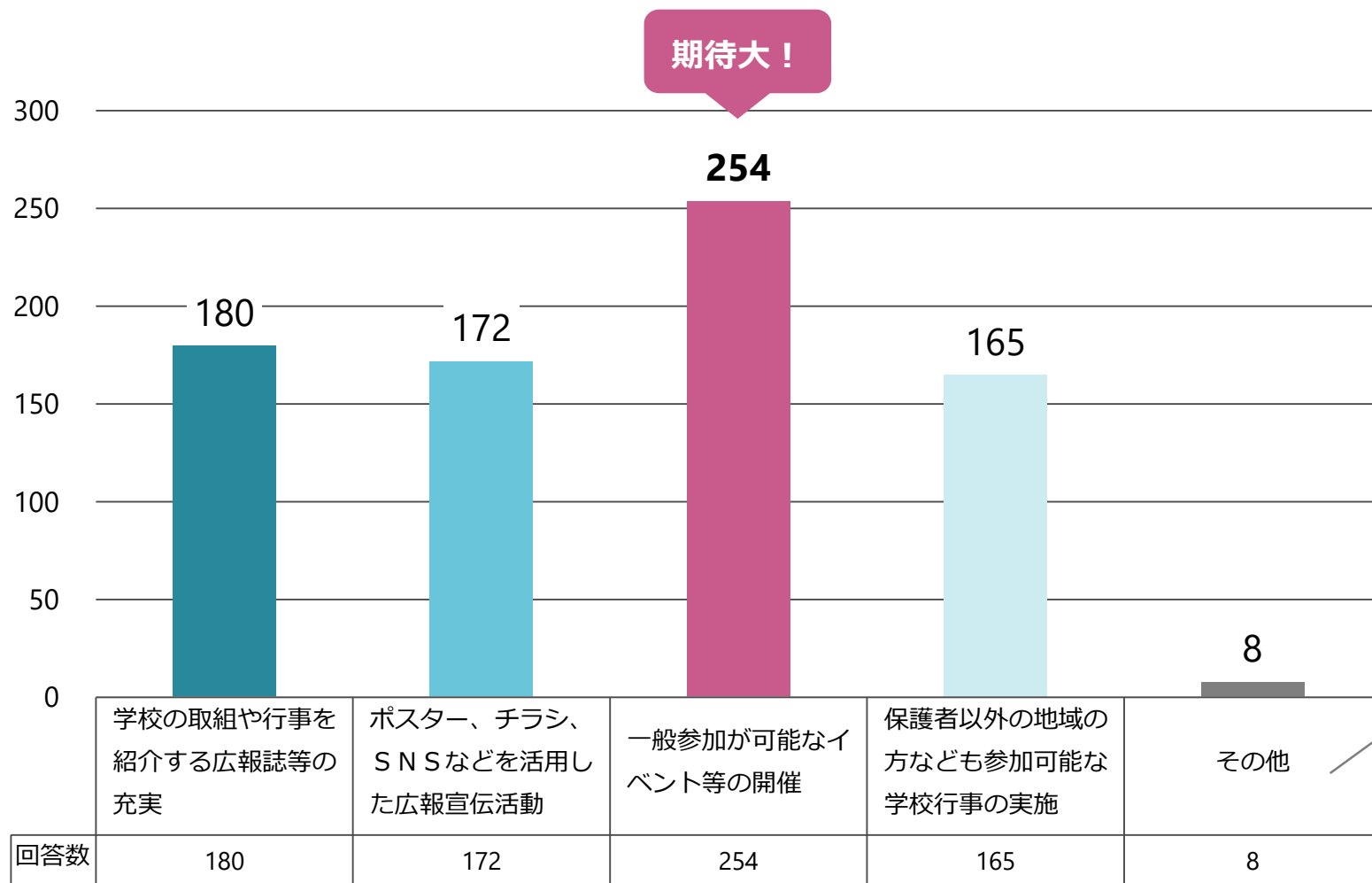
「ふくおか教育月間」記念イベント等に

約7割の方が

参加したい（してみたい）と回答しています

問4 教育に対する関心と理解を深めるために、県に対してどのような施策を期待しますか。
 (または有効だと思えますか。)

(N=354、複数選択可)



主な意見（抜粋）

- 違う世代が触れ合う機会
- 地域の元気な高齢者を巻き込んだイベント

問6 「ふくおか教育月間」について、これまでの設問以外に意見がありますか。

(N=88)

「ふくおか教育月間」やイベントについて

- ・ 保護者以外にも興味をひくイベントを考えてほしい。
- ・ 子供からお年寄りまで一緒にたのしく学べる場があったらいいと思います。
- ・ 普段は自分の仕事で精一杯なので、休みを利用していろいろなイベント等、気軽に参加できるシステムを作ってほしい。
- ・ 親子で参加できるイベントなどあれば是非参加してみたい。
- ・ 世代を超えた交流の場を設けるのも良いのでは。
- ・ フルタイムで仕事をしており子供もいません。正直言って教育月間に関しては余程自分の興味があるものでなければ参加は難しいですし、あまり興味が湧きません。
- ・ 大人向けの講座や講演を充実させてほしい。
- ・ まだ始まったばかりみたいですので、これから色々な活動が広まるのを楽しみにしています。
- ・ 講演会よりも屋外での体験型のものが参加したい。
- ・ Zoom参加や、土日なら午前と午後で選べるなど、選択肢があると良いなと思います。
- ・ この月間で「なに」を成し遂げようとしているのかあまり理解できませんでした。
- ・ ミライルはじめて知りましたが可愛いですね。

等

情報発信について

- ・ 学校に通う子供がいなくなると教育に関する関心が薄れてしまうため、定期的に情報を提供して欲しい。
- ・ 子供がいないので情報が入ってこない。もっと一般に情報提供してもらえれば、活動を理解して応援等出来ると思う。
- ・ タブレット学習やオンライン授業など、親世代が無縁だった学習が今の子どもたちにとっては学習法の一部となっている。保護者向けに「今の子どもたちの学習法」についてもっと理解の深まる資料を提供できれば、親子が協力して勉強に取り組めると思う。
- ・ 設問で知らないことだらけでした。もっとSNSで広報してもらいたい。
- ・ 民間の地域雑誌や地域特集でも取り上げられると、子供を持たない県民や福岡に就職・進学で来た若い人たちに伝わる機会が増えるのではないかな。

等

その他

- ・ 色々な制約がある中で、未来の宝を地域で育てる、孤立させない為の有効な取り組みが増えることを期待しています。
- ・ その子の持っているいろいろな個性や可能性をもっともっと伸ばせる形の教育の在り方があってよいのでは。
- ・ 地域と教育が連携している実感がありません。
- ・ 教育は経験、体験が重要。
- ・ 教育県として、都心部の高校や大学に偏差値で負けないようにしてほしい。
- ・ 福岡から日本の将来を支える逸材が生まれる土壌を作って欲しい。
- ・ 教育レベルに地域差があるため、地域ごとの対策を講じる必要があると思います。
- ・ 教職員の業務負担が増え過ぎないように配慮することも大切。
- ・ 好奇心を育てるために、科学実験や色々な体験授業を増やしてほしい。
- ・ 教育はそもそも家庭教育が主体であるべき。学校のみで頼ることなく、家庭、地域、学校のバランスとそれぞれの役割を上手く組み合わせた教育の実施が望まれます。
- ・ スポーツの成果を示す垂れ幕だけでなく、勉強の成果を図る垂れ幕をつくったらどうでしょうか。
- ・ 農家の高齢化が気になります。若い人が農業をしてくれるような取組をお願いします。

等